

# 大谷幼稚園 12月のおたより

園長 たなか たかあき 田中 貴章

## 「2学期のお子さまの成長」



大谷幼稚園の保護者の皆さま、関係者の皆さま、こんにちは。園長の田中です。気付けばすでに年末12月、年々1年間が短く感じますね。さて、先日行われました、成道会おゆうぎ会では多くの感動を味わい、またお子さまの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。2学期の、運動会・遠足・交通安全教室・報恩講・成道会おゆうぎ会・おもちつきなど、それぞれ楽しかった行事も終え、16日には2学期終業式を迎えました。お子さま達は、これらの行事を通して、様々な感情や環境を体験し、能力を習得してきました。その出発は、「何だろ～」から、興味関心をもって身近な環境と関わり、子ども自身の自発性や興味関心に支えられて展開していきます。自発性は、「面白い」「楽しい」と言った抑揚的な感情から「もっともっとやりたい」との欲求が生まれ、人（お友達

や職員）・事象（行事）などに主体的に関わろうとします。関わりが深まることによって、各行事の楽しさは増し、興味関心がさらに高まります。これを繰り返し行うことで子どもは発達に必要な経験を積み重ねていきます。大谷保育協会の研修会でこんな話を聞きました。「人はみなそれぞれ違った魅力と才能を持っています。一人として同じではありません。だから特定の人を他人と比較してはなりません。」と言っていました。おゆうぎ会のように発表の場がある行事は他の子と比較しがちです。そこでできなかったことに目を向けるのではなく、どのくらい努力したのか、何ができるようになったのかに注目して、ほめて伸ばしていくことが大切だと思っています。その過程をご報告する場として、終業式後には個人面談が行われます。様々な経験をした2学期のお子さまの成長の様子をお話しさせていただきます。幼稚園生活の中で見せるお子さまの様々な表情や成長し変わってきた話が、担任との間で弾めばいいですね。そして、楽しかったこと、できていること、新たにできるようになったことを話し合い、子どもの発達と同じように、それを積み上げていっていただき保護者さまにとってお子さまの新しい発見につながる、そんな時間になればと思います。まもなく冬休みに入ります。今しかできないお子さまとの会話を楽しみながら、ゆっくり年末年始の冬休みを過ごしていただき、3学期の始業式には元気な姿でお子さまを園に送り出していただきたいと思います。今年一年間、園のことに关しましては、ご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。それでは良いお年をお迎えください。

